

次世代型物流拠点 町名候補一覧表

資料 2

No.	町名	フリガナ	提案理由	推薦理由
1	青谷	アオダニ	①もともとの地域の呼び名だから ②山城青谷駅はあっても「青谷」という町名は存在しません。梅の名勝地として古くから知られる「青谷梅林」、上田三四二の歌でも有名な青谷を復活させて町名にしたらと思います。 ③あの地域一帯で長く親しまれてきた、青谷という名前が町名に相応しいと思い、応募致しました。	昔からある地名を町名として残すことに意義を感じるため。
2	青谷山手	アオダニヤマテ	①当該箇所は旧村の名残りを残す青谷地区に属しますが同地区は範囲が広く大字部分を単に青谷としても漠然として分かりにくいため新開発の意味あいが濃く地形ともマッチする山手を付けたものです。 ②誰でも名前の意味が理解できるような単純な名前とし、「青谷梅林」も全国にアピールできる。 「令涼つむぎ」の様なインパクトはあるが難しい名前は、将来誰も名前の意味や由来を知らないということにならないか心配	昔からある名前を含み、立地場所をも反映した名前であるため。
3	梅ノ丘	ウメノオカ	城陽市は梅が有名で、そのほとんどの梅が青谷の梅です。なので、青谷が未来の街を担って欲しいと思い、梅が入るまちがいいと思いつけました。	梅林が多く梅の町名希望が多かった。梅をイメージした町名ならNo12以外でも推薦致します。
4	青谷山手	アオダニヤマテ	①当該箇所は旧村の名残りを残す青谷地区に属しますが同地区は範囲が広く大字部分を単に青谷としても漠然として分かりにくいため新開発の意味あいが濃く地形ともマッチする山手を付けたものです。 ②誰でも名前の意味が理解できるような単純な名前とし、「青谷梅林」も全国にアピールできる。 「令涼つむぎ」の様なインパクトはあるが難しい名前は、将来誰も名前の意味や由来を知らないということにならないか心配	青谷の名前を残したいという希望が多かった。青を残した町名でも推薦したいです。
5	東陵	トウリョウ	①東部の丘陵で東と陵をとって読みやすそうで響きもなんとなくいい感じなので東陵にしました。 ②城陽市の東部丘陵地に位置することから、地理的な特徴を反映。「陵」は高台や丘陵を指すため、まちの景観と一致している。 高貴・荘厳な印象があり、次世代型物流拠点としての重厚なイメージと調和。	本エリアが東部丘陵地整備計画に基づくまちづくりの一環であることを端的に示すとともに、地勢を的確に表現している。
6	結都	ユイト	京都府城陽市の東部丘陵地が「次世代型物流拠点」の整備により、新たに広域交流の拠点として全国各地を「結」ぶ「都（みやこ）」として発展していくことを願って提案します。	将来に向けて本エリアに期待される役割を表現するもので、言葉として美しい響きがある。
7	青谷山手	アオダニヤマテ	当該箇所は旧村の名残りを残す青谷地区に属しますが同地区は範囲が広く大字部分を単に青谷としても漠然として分かりにくいため新開発の意味あいが濃く地形ともマッチする山手を付けたものです。	古くから親しまれてきた地域の名称に、山手が加わる事で、立地や地形がイメージしやすい。
8	先端流通センター	センタンリユウツウセンター	町の機能をなるべくわかりやすくネーミングしました。東京に「流通センター」の地名がありますが、そこと被らないように「先端」と、時代のトップを行く技術を持った地域であり続けるという意味合いを込めました。	新しいまちの機能がわかりやすく、次世代物流拠点がすぐにイメージできる。
9	ポイントバレー	ポイントバレー	関西の新たな物流の拠点として短くわかりやすく覚えやすいと思いポイントバレーはどうでしょうか。海外企業や外国人からもわかりやすく新しい城陽のイメージとして相応しいかと思います	物流の拠点を、新産業につなげる場所。
10	ブルーバレー	ブルーバレー	新産業の次世代型物流の発信の地としてカリフォルニアのシリコンバレーに対して物流の基地として知名度を高めるに相応しいと思い名付けました。長い間親しまれている青谷の英文表記としました。	新時代の青谷のスタート。
11	青光が丘	セイコウガオカ	青谷地区東部に次世代型の新物流拠点が完成することを祈って、この青谷地区が日本から脚光を浴びるような施設となることを希望して応募しました。	①「東部丘陵地」「青谷地区」「脚光」（日本初のIC直結の物流施設として）など関係する字で構成されている。 ②青光の読み方「セイコウ」の同音異義語に「成功」があり縁起が良い。 ③同地名が他に無い。
12	つなぎ	ツナギ	人と人を繋ぐ。 将来的にひらがな表記の方が、老若男女、また異国の方でも、わかりやすいかなと思います。	①当該地は物流施設が主な施設となるため、物と物とを「繋ぐ」場所として相応しい。 ②ひらがな表記が読みやすく又新しい感じがする。 ③同地名が他に無い。
13	梅ノ丘	ウメノオカ	城陽市は梅が有名で、そのほとんどの梅が青谷の梅です。なので、青谷が未来の街を担って欲しいと思い、梅が入るまちがいいと思いつけました。	次世代型物流拠点となるこの場所の印象として青谷梅林と東部丘陵地が強く、地域特性が表現されており、アピールすることにも繋がるため。
14	白鷺台	シラサギダイ	城陽市に多く生息する白鷺は市の歴史、文化とゆかり深く「自然と人の共生のシンボル」として「市の鳥」に制定され幸運や商売繁盛の象徴、縁起良い鳥。日本各地へ羽ばたき日本経済を支える物流拠点らしいと提案。	市の鳥である白鷺のイメージが、新たに物流拠点として発展していく町のイメージと合致しているため。